

<ニュースリリース>

吹付ウレタン断熱工事用原液（A種1H）が受注停止に！

吹付ウレタン断熱工事の遅延が継続

2022年1月27日

一般社団法人日本ウレタン断熱協会（東京都中央区、会長：丸山 和久）は、吹付ウレタン断熱工事用原液（以下、「原液」という）の吹付ウレタン断熱工事業者への供給が遅れ、建築現場における吹付ウレタン断熱工事遅延の懸念を2021年11月14日に公表しました、2022年1月現在供給状況がさらに悪化し、吹付ウレタン断熱工事の遅延が継続する見込みにあります。

発泡剤 HFO の製造元である米国ハネウェル社が本年8月末と9月月初めの二度にわたるハリケーン（アイダ、ニコラス）による被害を受け、発泡剤 HFO の生産が停止し、9月2日にフォースマジュール宣言を発表しております。この影響により、既報では発泡剤 HFO の供給は通常の50~60%程度減となっていることとしておりましたが、年明け後に状況がさらに悪化しております。

そのため、2022年1月17日以降、原液メーカー全社（7社）において吹付ウレタンフォーム用原液 A 種 1 H（HFO 品）の受注停止が決定されています。これにより、吹付ウレタン断熱工事業者においては A 種 1 H（HFO 品）の入手が断たれ、同原液（A 種 1 H）による工事ができない状況となっています。

HFO メーカーにおいては、供給回復の目途は見通せていないとのことで、当面の間 A 種 1 H による吹付ウレタン断熱工事は停止せざるを得ない状況となっています。

建築現場においては代替品への変更や工期について、吹付ウレタン断熱工事業者との協議継続を、当協会としてお願いするものです。

【解説】

■（一社）日本ウレタン断熱協会について

（一社）日本ウレタン断熱協会は、吹付ウレタン断熱工事業者により組織された団体で、1987年（昭和62年）に設立されました。当協会の将来の後継者の育成を推進するため、国家資格・熱絶縁施工技能士（吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事）の修得と、社会貢献として安心・安全と耐久性のある吹付ウレタン断熱工事の供給を目的としています。

<http://www.jua.cc/index.html>

■吹付ウレタン断熱工事用原液

原液はポリイソシアネート成分とポリオール成分の2成分からなっており、ポリオール成分には硬質ウレタンフォームの成形に必要なポリオール、発泡剤、整泡剤、触媒、難燃剤等を混合されています。この2成分を混合することでポリウレタンの成形反応と泡化が同時行われ、硬質ウレタンフォームが成形されます。発泡剤 HFO を用いた原液は JIS A 9526 の A 種 1 H に分類されている。

■吹付ウレタン断熱工事について

吹付ウレタン断熱工事は、ドラム缶入りのポリイソシアネート成分とポリオール成分の2成分と専用の吹付け発泡機を現場に持ち込み、吹付け発泡機にて温度と圧力が調整し、2成分を吹付けガンに圧送し、現場にて2成分を混合しながらスプレーして断熱材硬質ウレタンフォームを成形する工事です。

本リリースに関する問い合わせ先

一般社団法人日本ウレタン断熱協会

専務理事 橋谷 幸夫

Tel : 03-3667-1075 Email : insulplz@ra2.so-net.ne.jp（不在時はメールでお願いします）